



# 楓の誉

R8.1.8(第12号)

文責: 高田 幸伸

**新年あけましておめでとうございませす。**  
「門松づくりを行いました。」

昨年末の十二月二十八日(日)、午前十一時ごろから、黒石原自治会長様や有志の皆様、PTA役員の皆様、生徒会執行部の生徒たちが東門付近に集まり門松づくりを行いました。この活動は、今回で四度目となります。天候にも恵まれ、活気あふれる活動となりました。

自治会の方々を手本として、東門に向かって右側の門松をつくられました。その際、作成の手順だけでなく、竹の形や長さの意味、縄の結び方など門松づくりに込められた意味や思い、そして地域によって様々な形があることも教えていただきました。

次に左側の門松を生徒会執行部で作成することになりました。大人たちの心配をよそに、お互いに協力したり、分からないところはアドバイスをいただいたりしながら、手際よく作りあげていきました。生徒たちの協働する力を見ることができまし、とても頼もしく感じました。

黒石原自治会の皆様そしてPTA役員の皆様には、年末のご多用中にもかかわらず、ご協力いただき心より感謝申し上げます。



〈 門松づくりの様子↑ 〉

## 進路選択に向けて

「面接指導がはじまりました。」

十二月二十二日(月)から、三年生の進路選択に向けた面接指導がはじまりました。

ひとグループ三人から六人で、面接会場への入り方や椅子の座り方、座る姿勢や答え方などを中心に練習をしました。

質問は、主に以下の内容です。

- 「本校を志望した理由は何ですか。」
- 「入学後、どんな目標を持って学校生活を送りますか。」
- 「将来の夢は何ですか。」
- 「中学校生活で、頑張ったことや印象に残ったことはどんなことですか。」
- 「最後に何か言っておきたいことはありませんか。」

事前に答える内容を準備しておいたとはいえ、生徒たちの緊張感はずいぶんありました。

多くの生徒たちにとっては、初めての経験で戸惑うことも多いと思いますが、何事も挑戦です。

また、子どもたちの成長に触れる場面でもあります。もし時間が許せば、ご家庭でも面接の練習をしていただけると我が子の成長に出会えると思います。どうぞよろしくお願いいたします。



〈 校長との面接練習の様子↑ 〉

## 新年の節目にあたり...

「目標を立て、実行していきましょう。」

新年を迎えるにあたり、自分のこれまでの生活を振り返り、目標をたてることはとても重要です。

後期前半の全校集会で、生活ノートの表紙に「自分の夢ややりたい自分」と「具体的な取組」を書く取組を行いました。

具体的な

目標や理想とする姿を描いていた

り、まだ未記入だったりと取組の状況は、生徒によって

異なっていました。

ですが、一つ一つの節目で、自らの生活や目標を振り返り、方向性を探っていくことは、自らの主体的な生き方につながっていくと思っています。

目標の設定では、メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手が学生の時に作成した「目標達成シート」は頻繁にメディアにも紹介されています。正月の箱根駅伝で優勝した青山学院大学駅伝競走部の個人の「目標管理シート」の活用や組織として四年間を見据えた選手の育成メソッドは、自らの夢の実現に向けて、日常の生活の中でいかに主体的に学んだり、行動に移したりしていくのか、また組織として協働していくことの重要性など大きな示唆を与えてくれるものです。節目を大切にしていきたいですね。



〈 生活ノートの表紙 ↑ 〉

※学校生活の様子や様々な情報は、本校HPに随時、掲載しています。



学校HPの  
QRコード